

第3回 核融合炉・遮蔽定数WG議事録

1. 日 時 昭和57年5月20日(木) 13:30~17:00
2. 場 所 原研本部 第7会議室
3. 出席者 18名(敬称略・順不同)
中沢・井口・橋倉(岡代理)(東大・工), 関, 小山, 菊池, 長谷川(原研), 南(富士通), 伊藤(船研), 高橋(阪大・工), 河北, 大竹(PNC), 中田(川重), 川瀬(ISC), 川合(NAIG), 大村(IHI), 佐々木(FBEC), 松本(三井造船)
4. 配布資料
 - FS-82-1 DDX処理プログラム仕様 (井口)
 - FS-82-2 OKTAVIANにおけるDDX測定 (高橋)
 - FS-82-3 FNS Hybrid Blanket Assemblyベンチマーク解析 (山野, 小山)
 - FS-82-4 JENDL-IIによる高速炉体系の解析(案) (川合)
 - FS-82-5 第6回遮蔽国際会議の内容及び論文投稿規定
5. 議 事
 - (1) 前回議事録確認, 了承
 - (2) DDX処理プログラム仕様の説明 (井口)
FAIR-DDXのOutputを処理し, 実測値と比較する計算コードにつき説明し, Li-7, C-12の例を報告。
今後, 実測値との比較プロットを進める予定。
 - (3) OKTAVIANにおけるDDX測定 (高橋)
Ring-geometryなどの実験法を説明し, C, Al, Fe, Mo, Cuについての実測例及びENDF/B-IVとの比較例を報告。
今後, 更にデータ保管Formatなどにつき検討していくこととなった。
 - (4) FNS Hybrid Blanket体系のベンチマーク解析 (小山)
以前の解析で差異の大きかったグラファイト体系内U-235核分裂率についてThermalのup-scatteringを考慮した山野氏の再計算結果が紹介された。結論的には, この計算は余り効果的ではなかったが, 関連して, ①黒鉛の密度に問題があり, この補正によりC/Eが10%縮まること, ②Li領域での高速中性子の漏れの評価上の問題, ③Thermal域でのFission Cross-section, Fission chamberの摂動効果などが議論された。

(5) JENDL-II による高速炉体系の解析(案) (川合)

強度のはっきりした核分裂線源又は (γ, n) 線源を用い、鉄を中心にした6種のベンチマーク実験体系の解析案を了承。

第6回遮蔽国際会議での発表を目標としたタイムスケジュール、作業体制について検討された。

(6) その他

第6回遮蔽国際会議の内容等について説明。